

高1 インターン体験

高校1年生では、夏休みに進路を考える一環としてインターンに取り組みました。まず7月に、ビジネスマナーについて学びました。ご協力いただいた企業は、SMBC日興証券・エスプランナー・ケネティクス・リコー・王子ホールディングス、沖電気、丸紅、田無薬品、東京海上日動火災保険、野村総研（敬称省略）などです。

一日体験した後、8月末のHR研修でポスター発表の形にし、体験を共有しました。生徒の感想をご紹介します。

「性別の壁を越える」

私は野村総研のインターンシップで、目的を設定し、論理的に考える大切さを学んだ。また、仕事は効率を重視するイメージが強かったが、地道にしらみつぶしに原因を探ることもあり、仕事の二面性を知ることができた。他の人の発表を見て、女性の働き方について自分にはない視点で考えている人が多く、視野が広がった。例えば、薬剤師など資格が必要な職業は復帰が比較的楽であったり、女性が得意とする分野では女性が求められることもあるようだ。一方で性別に関係なくそれぞれが自分にあった仕事をする事で自分の個性を活かし、全体の効率化も図ることも大いにある。そこで、性別を越え、一人一人の特性を考慮することが大切だと思った。



ポスター発表で質問に答えています

